

卒業生と大学をつなぐ

# Communication Leaflet

## 卒業生の皆さんへ



本年度よりシステム工学部長を務めています野村です。1995年にシステム工学部創設準備室講師として赴任以来、光メカトロニクス学科、電子計測メジャー（現電気電子工学メジャー）で、主に光工学に関する教育・研究を担当してきました。今回、このリーフレットに記事を執筆するにあたり、赴任したことを思い出してみました。1996年10月に先行3学科（情報通信システム、光メカトロニクス、環境システム）の物理学B（その後「基礎電磁気学」に名称が変更されました）を担当しました。事実上人生初の講義でした。しかも基礎教育棟（G棟）の大教室（当時、システム工学部の建物はありませんでした）です。緊張で声が上擦っているのを学生に悟られないように冷静を装うのに必死でした。ところで、その講義を受けていた（私が緊張していたことを悟っていたであろう）1期生の皆さんが当時の私の年齢を大幅に超えていることに気づき、まさに「光陰矢の如し」であることを実感しているところです。

さて、昨年来、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日常生活をはじめあらゆるところで制限がかかり、卒業生の皆さんも大変な苦勞をされていることと思います。本学部・研究科でも昨年度は実験や実習は感染症拡大防止に留意しながら対面で行われましたが、座学は基本的に遠隔授業でした。学生の反応を見ながら授業

をするという当たり前のことを取り上げられてしまい、大学人としての存在意義を改めて考えさせられることになりました。大学院生は研究の成果を学会という場で学外の人向けに発表する機会もなくなり（もちろん、学会もオンラインで開催されましたので、発表そのものの機会がなくなったわけではありません）、もやもや感が残ってしまった一年でした。とはいえ、何もしないわけにはいかず、目の前の状況に適合していかなければなりません。学生や教員のプレゼンの技術、オンライン会議アプリケーションの使い方やオンラインコンテンツの作製能力は格段に向上したと思います。今年度は対面授業中心でスタートし、私も久しぶりに（一昨年度以来）対面授業をおこないました。自分でもテンション高めなののがわかり、25年前に味わった緊張感ではなく高揚感から声が上擦っていたほどです。大学人であることの喜びを実感した心地いい瞬間でした。しかし、4月26日からは大阪府下に緊急事態宣言が発出されたことに伴い、6月20日までは再び学生の登校が禁止され遠隔授業に戻ってしまいました。また「当たり前のこと」を取り上げられました。救いは僅か数回ですが学生の顔を見ながら講義をしていたので、教室の雰囲気を思い出しながらオンラインコンテンツを作製することができたことです。このようになかなか元通りの生活には戻り

そうにありません。ウィズ・コロナ、アフター・コロナ、新しい日常という目新しい用語も出てきていますが、結局はそれが当たり前の日常になるだけでしょう。過去を懐かしんでいても進歩はありませんから、好むと好まざるとにかかわらず適合しつつ前に進んでいきましょう。

昨年コミュニケーションリーフレットで宗森前学部長が「2004年に和歌山大学が国立大学法人となってから、6年間の中期目標・中期計画が定められ、これをもとに大学が評価されるようになりました。」と述べられていました。昨年度、第3期中期目標期間（4年目終了時評価）に係る業務の実績に関する評価を国立大学法人評価委員会により受けましたが、全項目において「順調」または「おおむね順調」と評価されました。

システム工学部が1学科10メジャーのダブルメジャー制となってから7年目です。この春にはダブルメジャー制となって初めての博士前期課程の修了生を送り出しました。昨年度も2万1千件を超える求人があり、就職状況も引き続き好調です。ひとえに卒業生の皆さんが活躍され、和歌山大学システム工学部・研究科の卒業生が高く評価されているからだと思っています。このいい流れが続きますよう、今後ともよろしくお願いいたします。

卒業生の皆さんと（オンラインもいいですが、でもやっぱり）face to faceで再会できる日が来ることを心待ちにしています。ワクチン接種数が増えているとはいえ、まだまだ油断は禁物です。感染防止対策にぬかりなく、健康に留意してお過ごしてください。

システム工学部長 野村 孝徳

## 教員異動のお知らせ

今年の3月で、社会情報学メジャー（旧・デザイン情報学科）の宗森純教授・学部長、鯉坂恒夫教授、並びに材料工学メジャー（旧・精密物質学科）の田中一郎教授が定年を迎えられました。また、社会情報学メジャーの福安直樹准教授と、電気電子工学メジャー（旧・光メカトロニクス学科）の鈴木新講師が退職されました。



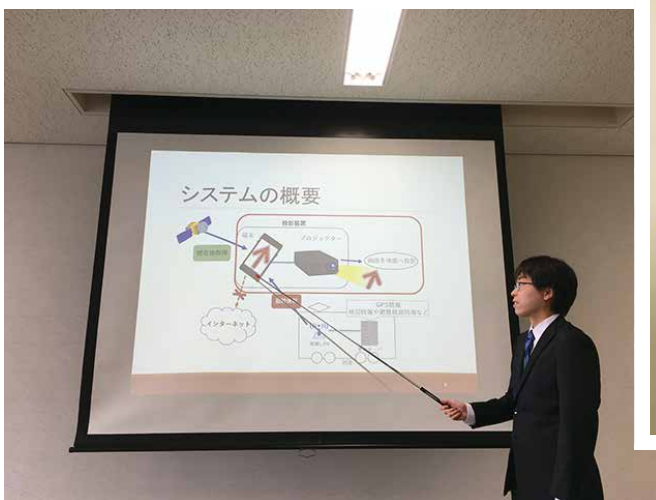
# TOPICS

## 情報処理学会第82回全国大会にて大会優秀賞を受賞

システム工学研究科 博士前期課程2年 知能科学クラスタ 大塚 彩秀菜さん

私は災害時の夜間避難の支援について研究を行っています。土地勘の無い場所での避難は、避難場所や方向が分からないため、避難場所や経路などの避難情報を取得する必要があります。さらに、夜間避難の場合、建物の崩壊等で経路上には瓦礫などの障害物があるため、昼間と比べてさらに足元や経路上の状況把握を行う必要があります。そこで卒業研究では、投影装置を製作し、懐中電灯のように地面を照らして足元の状況を確認しつつ、同時に避難情報を地面に投影して避難者に情報を提供することで避難支援を行う手法を提案、評価しました。しかし、システム開発が難航したため、評価実験を延期せざる

を得ない状況に陥りました。そこで、塚田晃司先生に相談し助言を頂き、システムの修正と挙動確認を何度も繰り返すことでシステムを完成させることが出来ました。また、評価実験では冬の寒い夜に何度も屋外での模擬避難実験を実施し、既存手法との比較を行いました。これらの困難を乗り越え、情報処理学会第82回全国大会にて大会優秀賞を受賞することが出来ました。修士研究では卒業研究で解決できなかった課題の解決を目指しており、大会優秀賞受賞という結果を受け、精一杯研究に取り組みたいと考えています。





## サイバスロン2020で2大会連続の4位入賞

博士後期課程3年(大会時：博士後期課程2年) 前田 孝次郎さん

博士後期課程1年(大会時：博士前期課程2年) 澤田 真さん

我々は、「RT-Movers」としてCYBATHLON2020 Global Edition の電動車いす部門に参加しました。当初は2020年5月にスイスで開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期となり、11月にオンラインで世界中の各地を繋ぐという開催方法となりました。我々のチームとしては、前回大会に引き続き、2大会連続での4位入賞となりました。

大会当日は、システム工学部棟の1階に大会用の路面を設置し、夕方(スイスの朝)に走行を開始し、合計で3回の走行を行いました。今回の大会では我々のチームとして

チャレンジングだったことが大きく2つありました。和歌山大学での開催となったため、路面準備や本部とのやり取りなどの大会運営についても自分たちで行う必要があったことと、大会当日はスイスにいた中嶋秀朗先生(チームリーダー)とはオンラインで連絡を取りながらも、機械のメンテナンスなどの作業を実際に行うのが学生だけだったことです。この2つの大きな挑戦は、チームの中心メンバーとして参加していた学生だけでなく、大会の運営に関わった学生にとって大きな経験となりました。

大会当日は、3回とも完走することができ、事故なく大会が終わった後は、大きな達成感を得ることができました。この経験を生かして、今後の研究活動に尽力していきたいと思います。

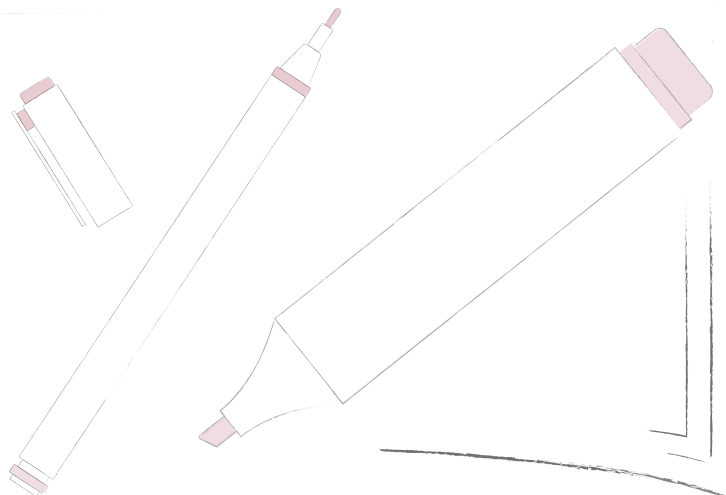
最後にですが、大会に関わったすべての方々に感謝を申し上げます。



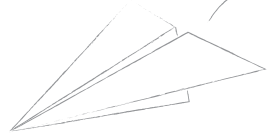
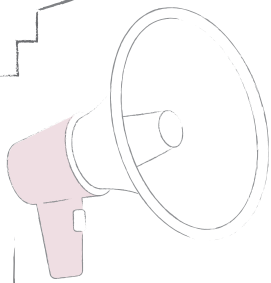
---

---

---







## “@sys”からのお知らせ

会員の皆様、平素より、同窓会活動へのご参加、誠にありがとうございます。

令和2年度に山野井第2代会長の下、新体制となり、早くも2年目を迎えることができました。初代別所会長が築かれた同窓会活動の基盤を、さらに強固に、持続可能なものとし、会員皆様にサービスを提供していけるように、役員一同、意欲的に活動に取り組んでおります。ご意見、ご要望等をお受けしておりますので、同窓会ホームページ内、お問い合わせ欄からお送りください。

毎回ご好評をいただいております「システム工学部同窓会」ですが、今年度はオンラインにより実施するべく企画進行中です。昨年度新型コロナウイルス感染症のため、実施することが出来なかった分を取り戻すことができるよう、準備を進めています。随時情報公開させていただきますので、お楽しみにお待ちください。

また今までホームページ、COCOアカウント中心の情報発信でしたが今後公式LINEアカウントからの発信もしたいと考えています。

以下のQRコードからぜひ登録をお願いします。今後は他のSNSへの展開も検討中ですのでご期待ください。

今後も同窓会活動情報をホームページ、COCOアカウント、各種SNSを通して、皆様に発信してまいります。引き続き同窓会へのご参加、どうぞよろしくお願いいたします。

システム工学部同窓会  
「@sys」ホームページ

▶ <https://www.wadaisys-dousou.net/>



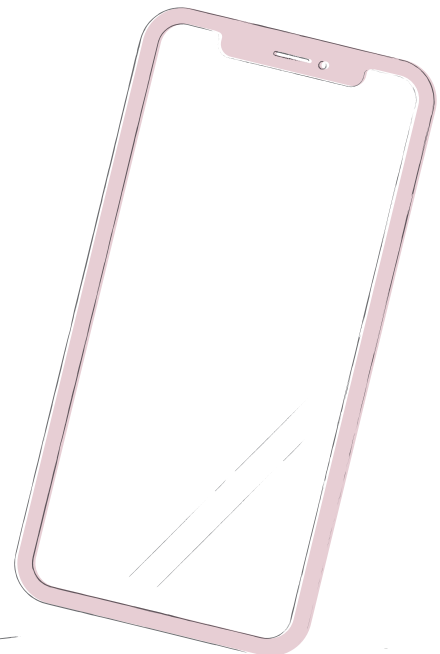
## 「@sys」LINE公式アカウント はじめました!!

同窓会の新たな取り組みの一つとして、SNSを活用した広報活動の強化を行ってまいります。

その第一弾として、まずはLINE公式アカウントを始めました。こちらからも、同窓会からのイベント情報や各種お知らせをお送りさせていただきます。

まだご登録いただいていない方は、この機会にぜひとも友達登録をしていただきますようお願いいたします。

LINE 公式アカウントID : @sys\_dousou





Major

旧：情報通信システム 学科

# 知能情報学・ネットワーク情報学

× × × × × × × × × Intelligent Informatics × Network Informatics × × × × × × × × ×



## 学部長補佐より（知能情報学・ネットワーク情報学メジャー担当）

2021年度より学部長補佐をしておりますネットワーク情報学メジャーの塚田でございます。COVID-19による影響もまだまだ完全収束には至っておりませんが、卒業生の皆様におかれましては、いかがおすごしでしょうか？

さて、このCOVID-19の影響で、世の中に一気にオンラインコミュニケーションが普及しましたが、大学の講義もオンラインでの開講が続いています。2020年度に比べれば対面実施する講義も増えてきましたが、大人数が履修する講義では、密を避けて

着席できる講義室が確保できないため、引き続きオンライン講義となっています。対面講義ではないことのデメリットもありますが、録画した講義ビデオをオンデマンドで視聴することができるので、学生にとっては自分のペースでノートを取りながら受講することができるメリットもあるようです。

最後に、ワクチン接種も進んでまいりましたが、まだまだ予断を許さない状況が続いております。皆様、どうぞお体ご自愛のほど。

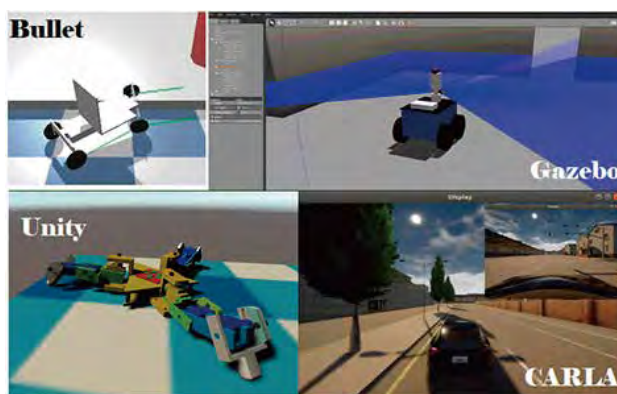
教授 塚田 晃司

## 中村研究室の近況報告

昨年度、コロナ禍の影響で大学はこれまでに経験のない様々な課題に取り組まなければならない事態となりました。私の研究室でも、登学禁止の影響を受け、卒業論文・修士論文の研究実施に当たり、例年とは異なる対応に迫られました。実際の大型の機器を用いなくても良いように、シミュレーション環境を用いた研究をいくつか実施し、オンライン会議ツールで打合せを行いました。右の写真は、そのような研究例を表しています。近年は計算機的能力も上がり、実際のものと同色の動き・映像が作成できるようになっています。今後も引き続き、臨機応変に

対応し、ICT機器を駆使して知的システムの研究開発に取り組んでいきます。

教授 中村 恭之



## 村川研究室の近況報告

今年度、私達の研究室では、授業サポート（C言語プログラミングの学習支援、項目反応理論に基づく情報リテラシーの理解度テスト）とデジタルアーカイブ（系図・花押の検索閲覧システム）に分かれて研究を進めています。

このうちプログラミング学習支援では、科研費の助成を受けて、タイピングアプリを開発しました。

複数行のソースコードをタイプでき、ミスタイプを含め1文字単位で経過時間を記録します。

Webアプリケーション開発・実行の基盤としてDockerを、また研究室でのコミュニケーション（ビデオ会議など）にはMicrosoft Teamsを、積極的に活用しています。

准教授 村川 猛彦

```
#include <stdio.h>
int main(void) {
    int i, u;
    for (i = 0; i < 10; i++) {
        printf("waka\n");
    }

    u = 0;
    while (u < 10) {
        printf("yama\n");
        u++;
    }
    return 0;
}
```

backspaceを1回押してください

実施中の画面



|    | source | misstype | time  | # |
|----|--------|----------|-------|---|
| 9  | #      |          | 4.957 |   |
| 10 | i      |          | 0.614 |   |
| 11 | n      |          | 0.078 |   |
| 12 | o      |          | 0.116 |   |
| 13 | l      |          | 0.191 |   |
| 14 | u      |          | 0.056 |   |
| 15 | d      |          | 0.096 |   |
| 16 | e      |          | 0.23  |   |
| 17 | <      |          | 0.401 |   |
| 18 | s      |          | 0.282 |   |
| 19 | t      |          | 0.26  |   |
| 20 | d      | u        | 1.87  |   |
| 21 | i      |          | 0.073 |   |

実施後の集計

プログラミング学習支援

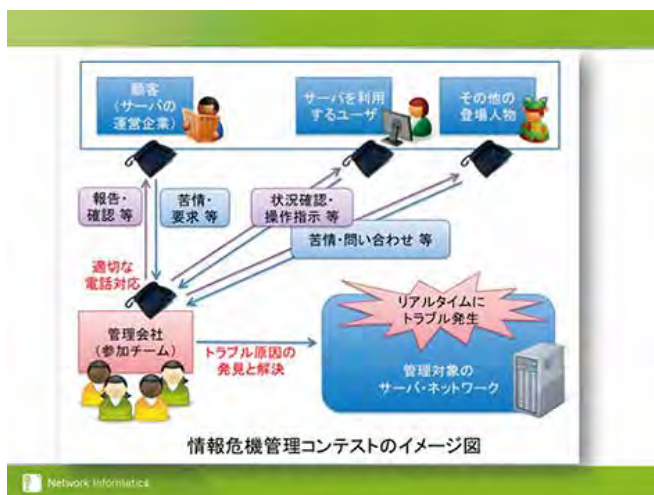


## 川橋研究室の近況報告

当研究室は、学術情報センター内にあります。システム工学部との兼務によって、学生さんを研究室に迎えています。センターですので、大学全体のネットワークやコンピュータシステムを運用しており、どのように効率よく運用管理するかについて、研究して、実際の運用管理に役立てています。情報セキュリティについても同様で、日々和歌山大学にやってくる攻撃などを防ぐ一方、攻撃の手法を解析し、これを利用して、教育コンテンツとしてコンテストやPBL演習などを運営しております。特に情報危機管理コンテストでは、2つの大臣賞（経済産業大臣賞、文部科学大臣賞）を授与する側として、全国の大学、

大学院、専門学校の皆さまおよそ30チームを相手に、攻撃を繰り広げています。

講師 川橋 裕







Major

旧：光メカトロニクス 学科

## 機械電子制御・電気電子工学

× × × × × × × × × × Mechatronics × Electrical and Electronic Engineering × × × ×



### 学部長補佐より（機械電子制御・電気電子工学メジャー 担当）

卒業生の皆さん、  
いかがお過ごしで  
しょうか。本年度も  
緊急事態宣言の影響

で5月より学生の登学禁止期間が続きましたが、現在は  
宣言の解除を受け、少しずつではありますがキャンパス  
に賑わいが戻りつつあります。ワクチンの接種も進ん  
でいますので、今しばらくの辛抱と思い過ごしています。

昨年度からの大きな変化としては、この後にご挨拶  
いただいていますように、鈴木先生が4月から奈良県  
立大学へご栄転されました。新天地でのご活躍を  
お祈りしています。卒業生の皆さんにおかれましても、  
仕事や私生活に様々な制約が生じていることと思ひ  
ますが、くれぐれもお体に気を付けてお過ごしくだ  
さい。

教授 長瀬 賢二

### 鈴木先生よりごあいさつ

皆様、お元気ですか？今年3月末に退職いたしま  
した。2010年に企業から和歌山大学に変わり、退職  
までの間、有意義な日々を過ごさせていただきました。  
研究室に所属していた卒業生の皆さんのお陰と感謝  
しております。

この4月から奈良県立大学に勤めています。現在、  
データサイエンス関連科目を教えたり、新学部の設置  
とも関連しIR(Institutional Research)などの大学改革  
に取り組んでいます。

皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

鈴木 新

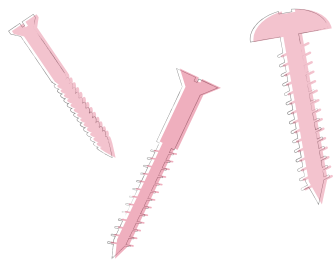


## 小川原研究室より近況報告

2011年に和歌山大学に着任してからちょうど10年が経ちました。これまでに、ロボットの動作計画、視覚処理、機械学習、パワーアシストスーツなどの研究に学生と一緒に取り組んできましたが、昨年度は、コロナ禍の中、ほとんどの授業が遠隔となり、研究活動も大きな制約を受けました。一方で、国際会議や国内会議がオンライン開催となったため、移動や旅費を気にする必要がなくなり、学生ががんばってくれたおかげで例年以上に对外発表を行うことができました。今年度もコロナ禍の影響は続いています。状況に柔軟に対応して質の高い教育研究を行っていききたいと思います。



准教授 小川原 光一

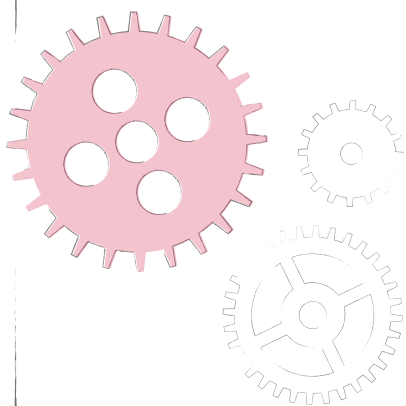


---

---

---

---



---

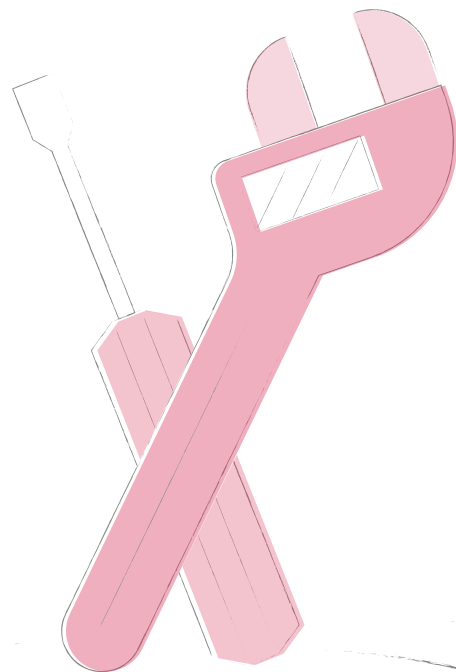
---

---

---

---

---





Major

旧：精密物質 学科

# 材料工学・化学

× × × × × × × × × Materials Engineering × Chemistry × × × × × × × × × × × × ×



## 学部長補佐より（材料工学・化学メジャー 担当）

卒業生・修了生の皆様、お元気ですか？今年度、材料工学(ME)メジャーと化学(CH)メジャーを取りまとめる学部長補佐を務めます。

今年3月末で、MEメジャーの田中一郎先生が定年退職されました。残る14名が、引き続きME、CHで教育・研究に従事しています。

コロナ禍が続き、和大でも新型コロナワクチンの職域接種が準備中で、それを待たずに住居地でワクチン接種を受ける学生もいるようです。

皆様もワクチン接種を副反応少なく接種され、勤務先のリクレーターとして、大学を訪れ元気な顔をお見せくださる日が早く来るのを待ちたいと思います。それまで、皆様のますますのご活躍を祈念しております。

教授 木田 浩嗣



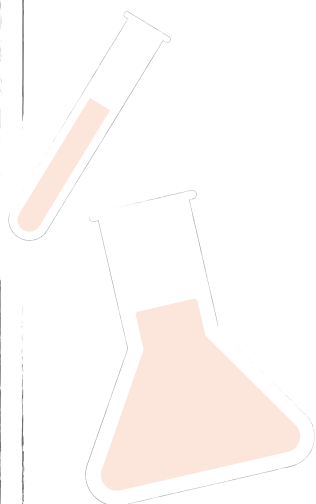
## 田中先生よりごあいさつ

旧精密物質学科並びに応用物理学／材料工学メジャー卒業生の皆様、いかにお過ごしでしょうか。

私はこの3月末で、24年間勤務した和歌山大学を定年退職致しました。その後は、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しませんので、外出はなるべく控えて自宅で過ごしています。すなわち、散歩を兼ねて近所のスーパーに買い物に行く他は、いろいろと本を読んだり、Netflixで映画を見たりしていますが、

最近、思い立ってフランス料理の勉強を始めました。そのようなわけで、格別に報告するようなこともございませんが、皆様ももうしばらく感染対策に気をつけて無事にコロナ禍を乗り切ってください。

田中 一郎

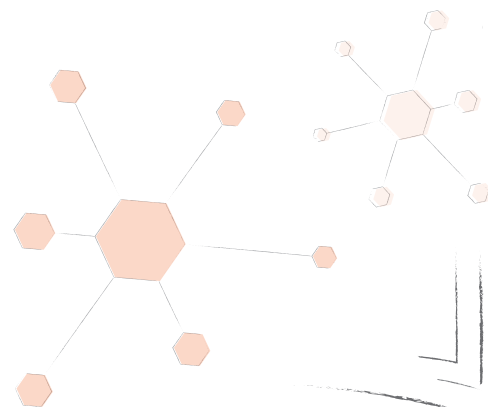
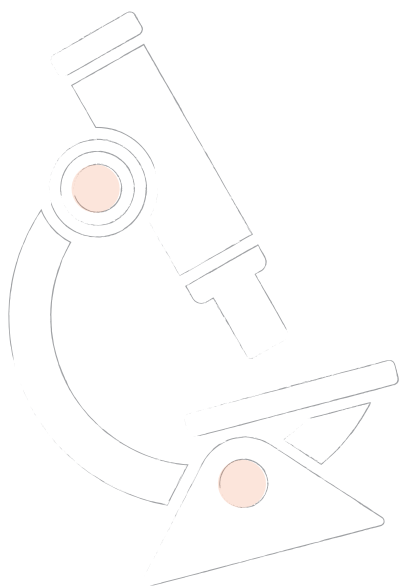


## 林研究室の近況報告

卒業生のみなさま、元気でご活躍のことと思います。新型コロナウイルスの影響でみなさまも大変なことでしょう。大学にもようやく学生の声に戻ってきました。今年は卒業生が博士後期課程に入学してくれ、M2が2名、M1が2名、B4が5名で、私を入れて11人で元気に楽しく研究しています。ゆっくりですが、着実に研究も進んでいます。和歌山に来られる機会が

ございましたら、ぜひ頑張っている後輩たちの様子を見に、研究室に立ち寄っていただけたらと思います。また先輩のご活躍の様子を生で後輩にお伝えいただき、後輩の就職活動にご協力いただけるとありがたいです。みなさまの益々のご活躍とご健勝をお祈りしております。

准教授 林 聡子







Major

旧：環境システム 学科

## 環境科学・環境デザイン

× × × × × × × × × Environmental Science × Environmental Design × × × × × × × × ×

### 学部長補佐より（環境科学・環境デザインメジャー 担当）

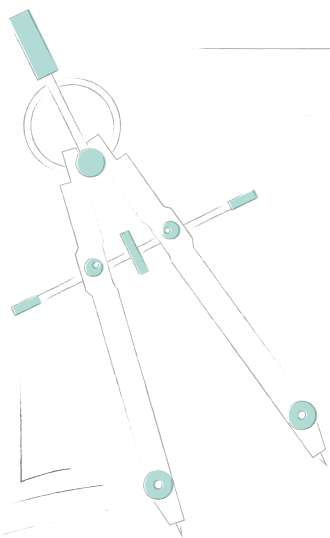
感染症対策を行いながらの生活が続きますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今後もまだしばらくは生活への影響が続くような様子ですので、十分な対策を行ってこの難局を乗り越えたいですね。大学でもオンラインでの授業の実施をはじめ、対面で行う場合にはマスクの着用、体温計や消毒グッズなどを用いながらドアや窓を開けて行っています。

さて、今年度末にて、高砂正弘教授が定年を迎えられます。高砂先生には旧環境システム学科長、環境デザインメジャー主任を歴任いただき、建築分野をはじめとする教育研究においても大変お世話になりました。卒業生のみなさまから高砂先生へのメッセージをお寄せいただけたら大変嬉しく思います。

教授 宮川 智子



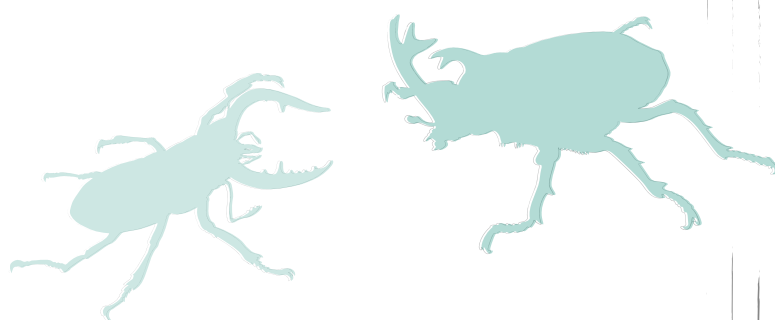
北3号館(B棟)6階からの眺望 晴天時には水色に輝く紀の川が見えます。



## 里山キャンパスツアーを実施しました

2018年7月に、本学に隣接する藤戸台小学校で、カブトムシ・クワガタムシを題材とした環境教育プロジェクトを実施しました。総合学習の一コマを頂戴して、2年生の各クラスで、景観生態学研究室所属の学生中心に、本学周辺の植生遷移と生物相、とりわけ子供達に人気のカブクワの生息変化について出前授業を実施、クイズ大会も行いました。その半月後には、受講者の中から先着順で10名のお子様とその親御さんを対象に、キャンパス内樹液場ツアーを行いました。成果は受験雑誌の「螢雪時代」にとりあげられ、学会発表も行って今後の継続につながる素地が形成されました。

准教授 原 祐二



## 最後の「卒論卒計ダブル」はコロナ禍での対面プレゼン

2020年度のEDメジャーの卒業設計発表会が、1-1 Architectsの神谷勇机さんを迎えて2月末日に行われました。開催告知は最小限に留め、懇親会もなしですが、換気消毒を徹底し、なんとか対面プレゼンを行うことができました。感染状況が落ち着いていた

のは2月末から3月下旬までのわずかな間で、幸運だったといえます。総勢10名9作品が発表され、最優秀は大阪・釜ヶ崎で「浄化都市」を提案した清水健さん（平田ゼミ）、優秀は大阪・中之島で「水景」を提案した諫本悠真さん（高砂ゼミ）と、由良町で

「のぞみを継ぐ家」を提案した柴谷郁帆さんと宮脇隆一さん（平田ゼミ）でした。

2021年度からは「設計」も卒業研究として認めることとなっています。より力のある作品が生み出されることでしょう。ご期待ください。

准教授 平田 隆行





# メディアデザイン・社会情報学

× × × × × × × × × × × × Media Design × Socio-Informatics × × × × × × × × × ×

## 学部長補佐より（メディアデザイン・社会情報学メジャー 担当）

昨年度からのコロナ禍で、なかなか日常が戻りませんが、卒業生の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。そのような中、昨年度いっばいで、旧デザイン情報学科の教員3人が“卒業”されました。鯨坂教授、宗森教授、そして福安准教授の方々です。方々の近況などは下記のトピックスをご覧ください。鯨坂先生と

宗森先生は定年退職となり、最終講義が開催されました。写真は最終講義後に旧デザイン情報学科メンバーで撮った記念写真です。旧デザイン情報学科のメンバーが揃うのは久しぶりでした。旧学科卒業生の皆さんにとっても、懐かしく感じる一枚ではないでしょうか。

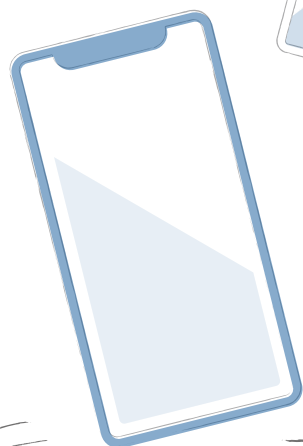
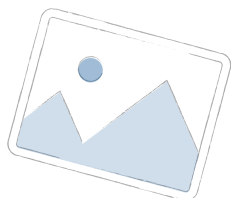
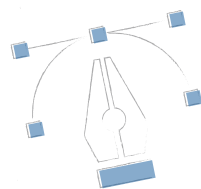
教授 原田 利宣



## 米百俵デジタルコンテスト2020で 持続可能性賞を受賞

このコンテストは、「子どもの遊び、学び、暮らしを豊かにするデジタルプロダクト」をテーマにアイデアが募集されました。全国から128作品の応募があり、一次審査で8作品、長岡市内の小学生による投票でグランプリ、審査員により特別賞5作品が選定されました。松延研の嶋原百香さん、田中桂央さん、河村匠馬さん(学部3年生)は、持続可能性賞を受賞しました。コロナ禍において、グループでの対面活動や大学の3Dプリンタが利用できないという制約の中、ブラッシュアップを行っていました。

提案では、防犯機能付き端末「マイこめ」を子供たちが持ち、地域をフィールドとした謎解きに挑戦します。進めるには地域内の施設や店舗を実際に訪れる必要があり、地域を知り、地域の人と交流します。審査員からは、人間中心設計に基づいた地域全体を巻き込むストーリー設計を高く評価していただきました。



Aa



## 宗森先生よりごあいさつ

1999年4月にデザイン情報学科に赴任し今年3月に定年となりました。4月から放送大学和歌山学習センターに勤務しています。放送大学は通信教育が基本ですが、対面授業(放送大学では面接授業と言います)もあります。和歌山学習センターは和歌山市西高松の和歌山大学松下会館の中にあります。いわゆる「車庫前」に近いのですが、近くに餃子の王将はあるのですが和歌山ラーメンの店はありません(^\_^)。放送大学には生涯教育の面があり、私より高齢の



学生さんもたくさんいらっしゃいます。中には放送大学(教養学部)の6つあるコースすべてを卒業された猛者の方もいて、その方々は「名誉学生」の称号を与えられています。「名誉教授」は知られていますが(私も名誉教授にいただきました)、「名誉学生」は珍しく、Wikipediaにも「放送大学の名誉学生」として載っています。

現在の私の主な仕事の一つは、面接授業の企画です。シス工からは既に数人の先生に授業を行っていただいています。幅広い年齢層の学生の興味を引く授業を鋭意企画中です。そのため、新たな先生方にも、シス工の授業とは一味違った授業などをお願いをするかもしれませんが、その時はよろしくお願いします。

写真に写っている机の上の鳥(鳩)は放送大学のイメージキャラクター「まなぴー」です。

宗森 純

## 鯨坂先生よりごあいさつ

2021年3月末、24年間お勤めした和歌山大学を定年退職いたしました。種々失策もあったように思い起こされますが、総じて楽しく勤務させてもらえて、関わりのあったすべてのみなさまに感謝しております。

縁あって、その後は武庫川女子大学教授として同業を続けています。生活環境学部・情報メディア学科というところですが、これを社会情報学部へ改組しようという動きに加担しております。和大的メジャーと同じ名前であるのが因縁です。とはいえ、1年の担任、2年の少人数教育、3年のゼミと、なかなか教育実務が忙しい実情です。和大ではもっと女子学生が来て

ほしいと思っていましたが、ここでは当然ながら十割であります。

鯨坂 恒夫



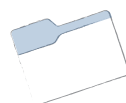
## 福安先生よりごあいさつ

私事ではありますが、この3月末日に21年間在籍した和歌山大学を退職しました。これまでたくさんの卒業生の皆さんと貴重な経験をさせてもらいありがとうございました。

4月からは、IT Spiral/Cloud Spiral/AiBiC Spiralと一緒に取り組んだ縁もあり、大阪工業大学情報科学部の教員となりました。さっそく9名の3年生が配属され、新たな研究室活動がスタートしたものの、これを書いている時点では大半の授業がオンラインで、ほとんど顔を合わせることができていません。それでも、和歌山

大学でのこれまでの経験も活かして、皆さんに負けられないような学生の育成に今後も精進していきたいと思います。

福安 直樹



### 連絡先

和歌山大学 システム工学部同窓会  
〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930  
073-457-8021  
alumni.sys@g.wakayama-u.jp  
<https://www.wadai-sys-dousou.net/>

### 編集

和歌山大学  
システム工学部同窓会  
  
和歌山大学  
研究・社会連携課 技術支援係